

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 9日 ～ 2025年 10月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 10月 9日 ～ 2025年 10月 9日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族へのサポート	その日の様子をすぐに確認できるように、LINEを使って利用の様子を伝えていきます。また急な欠席の連絡や外出時の持ち物の連絡もすぐにLINEで連絡を取り合うことができます。避難訓練などのイレギュラーな活動の詳細もLINEを通して活動の様子を伝えていきます。	引き続きLINEなどのツールを活用していき、連絡手段が円滑になるよう進めていきます。
2	専門職（保育士・作業療法士・理学療法士）を配置しています	専門的な視点で支援計画を立て、個別又は集団で支援を行っています。 小集団SSTの学習を取り入れ、グループごとに同じ課題に取り組んでいます。	利用時の様子を保護者に丁寧に伝え、今後取り組んでほしい支援内容を保護者と一緒に考えていきます。
3	集団遊びの充実化	室内の運動あそびに加え、敷地内の庭で鬼ごっこなどの集団遊びができるよう環境を整備しています。	友だちとのやりとりを通して、ルールを守ることなど社会性を育てて行けるように支援します。 運動研修の内容を職員間で共有し、遊びの幅を広げたり、職員の適切な介入方法を学習しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの確保	利用日によっては、活動スペースが制限されてしまう場面もあります。	利用児童、一人一人に寄り添いながら、共同で使う活動スペースの使い方や活動スペースの確保について職員間で検討していきます。
2			
3			